

# 目次

百人一首の撰歌について……………	島田 良二	1
上代文学に見る「天道」概念の形成について——旧稿「天道攷」補説——	小堀桂一郎	13
死語としての「浪漫主義」——フランス七月王政を中心に——	井上 英明	33
漢文訓読の「割引率」——記憶術としての定位——	古田島洋介	55
【翻刻】清正・友則・素性集（架蔵）翻刻……………	島田 良二	69
【書評】中村真一郎『再読日本近代文学』（集英社）——不在の中の文学——	和田 正美	83
カブリエル・マルセルの思想(5)		
希望の現象学——エルンスト・ブロッホとの関連において——	小河 織衣	168 (1)
『散文トリスタン物語』とEugene およびその子孫の介介……………	佐佐木茂美	160 (9)
欧化使汉语词汇面貌一新……………	万 惠洲	148 (21)
異文化社会の言語使用と日本語社会の対人関係表現……………	氏家 洋子	134 (35)
蔵傳佛教寧瑪派……………	三木 友里	122 (47)
A Dutchman's View of Japan——A Reading of Bernard V. A. Roling's <i>The Tokyo Trial and Beyond</i> ——		
（オランダ人の見た日本——ベルナルド・V・A・レーリング『東京裁判とその後』を読む）……………	牛村 圭	116 (53)
【翻訳】グスタフ・マラー……………	アンリールイ・ドラ・グランジュ	108 (61)
	丸山 正義(訳)	
研究成果及び活動一覧（平成八年一月～十二月）……………		98 (71)